

第3回 寝屋川市立保育所民営化（認定こども園）に係る 事業者選考委員会会議録

■日 時：平成 24 年 12 月 17 日（月） 午後 6 時～午後 8 時 15 分

■場 所：市立すみれ保育所遊戯室

1 出席者

学 識 経 験 者：安藤 和彦

学 識 経 験 者：中田 千穂

税 理 士：高谷 和正

民生委員・児童委員：山谷 敬子

寝屋川市立保育所長：森田 恵美

※開催前に市より説明があった。

①池田幼稚園園舎の解体期間中、すみれ保育所で保育できないかという提案に関しては検討しているところで、決定次第、保護者にはお伝えする。

②本日の第3回事業者選考委員会は、事業者を選考していくにあたって、保護者の想いを選考委員に伝えていただき、それを事業者選考に活かしていただくという趣旨で開催する。質問等はしていただいて結構だが、趣旨に合わない質問については、ご遠慮願いたい。できるだけ多くの保護者に意見を言うていただきたいので、簡潔にお願いしたい。

2 保護者との意見交換会

○自己紹介

各委員より自己紹介があった。

○池田幼稚園保護者より次の意見があった。

（意見をまとめた資料を選考委員に配布）

- ・今まで公立幼稚園が果たしてきた役割に、二中校区の縦のPTA行事、子どもたちと地域の交流がある。認定こども園になればPTA行事はなくなると思う

が、市のイベント交流や地域との交流をどこまで残してもらえるのか不安がある。工事の安全面や騒音対策はどうなっているのか、保護者から心配の声があがっている。地域からすばらしい認定こども園ができたと思ってもらえるものにしてもらいたい。そのためには、保護者の意見・要望を受け止めてくれる事業者に、寝屋川市で最初の認定こども園を運営してもらいたい。

- ・地域から愛されるこども園、地域のいろんな方に来ていただけるこども園になってほしい。
- ・行事や保護者会等、短時間児と長時間児の保護者のコミュニケーションが図れるように、事業者から積極的に働きかけていただきたい。保護者間に亀裂が生じないようにしてほしい。
- ・保育所の子どもは一日の流れの中でいろんな取り組みをしているが、この子どもたちがいるからできないということがないようにカリキュラムを考えていただきたい。

○すみれ保育所保護者より次の意見があった。

(アンケート等をまとめた資料を委員に配布)

- ・私立保育所では狭い中に遊具があるので、クラスごとに外遊びの時間設定がされており、ほとんど園庭で遊べないと聞いた。保育所は、0～5歳のいろんな年齢層が関わりをもって遊べる場所。そういうことを大事にしてくれる事業者がいい。
- ・目の前にいる子どもを思って、しっかりみてくれる保育士がいる事業者を選んでほしい。
- ・保育経験がある事業者を選んでほしい。
- ・障害を抱えた子どもをちゃんと教育してくれる事業者を選んでほしい。
- ・子どもを安心して預けられる保育をしてくれる事業者を選んでほしい。
- ・安心して任せられる、経験豊富な保育士がいる事業者に来てほしい。
- ・保護者の思いを汲み取ってくれる事業者を選んでほしい。
- ・どういった保育所で、子どもたちがどういった生活をしているか説明してもらえ事業者を選んでほしい。伝えようと努力してくれる、開かれた認定こども園になってほしい。

途中、次の質疑応答があった。

保護者：選考委員が保護者アンケート結果の項目について思っていることを言っていたきたい。

市：項目は今始めて見たところ。項目ごとではなく、どういう思いで選考にあたるかについてお話していただく。

委員：子どもの最善の利益を中心において考えていきたい。

委員：皆さんのお話を聞かせていただいて、それを反映できる事業者を今まで選んできた。客観的・公平に選考してきた。今回もそのようにしていく。

委員：皆さんの意見をきちんと聞き、主観を入れずに、保護者が求めているものを反映してくれる事業者を選ぶ。たくさん話を聞かせていただきたい。

委員：いろんな選考要素を客観的に考え、自分の子どもをこの保育所に預けると思って、ベストな事業者を選びたい。

委員：保護者と子どもが安心できる事業者、引継ぎ等一緒に考えていける事業者を選んでいきたい。

保護者：今おっしゃったことに該当する事業者がなかった場合は、全て不合格にし、再募集していただけるのか。

市：選考にあたっては最低基準を設けている。最低基準に達しなければ移管先事業者を選考しない。

保護者：最低基準の中身を教えていただきたい。

市：点数でいうと60点。

保護者：中身を具体的に言っていただきたい。資料があれば。

市：今は、配れる資料はない。

- ・子どもが安心して通える事業者を選んでほしい。楽しんで保育できる保育士に来てもらいたい。
- ・子どもがのびのび生活できる場を重視してくれて、保護者の思いを大事にし、父母会を存続させてくれる事業者を選んでほしい。保護者も育ててくれる保育士がいる事業者に来てほしい。

- ・環境の変化で不安定になる子どもが、保育所に行きたいと思わせてくれる保育士がいる事業者。若い保育士を育てることができる主任がいて、若くても子どものためのアイデアを持っている保育士がたくさんいる事業者に来てほしい。就学前の最後の1年に民営化されるが、気持ちよく卒園させてくれる事業者であってほしい。子どもにも保護者にも誠実である事業者がいい。私たちと私たちの子どものことだけを考えて選考していただきたい。
- ・乳児を保育したことがない事業者、保育経験がない園長には来てほしくない。今まで民営化された保育所で、たくさんの方が退所している。公立のことをわかっていない事業者、5年待てば自分たちのやり方ができると考えている事業者には来てほしくない。保護者に何も言わず工事をしたり、泥んこ遊びをやめたり、保護者会をなくす方向にもっていく事業者がある。子どもの事を一番に考えて、保護者アンケートを熟読していただきたい。保護者アンケートは事業者にも読んでいただきたい。
- ・学校法人が0～2歳の保育をすることに不安を感じている。0～2歳の大事な時期は、すみれ保育所が行っている関わりと同じようにやってくれる事業者を選んでほしい。物を詰め込んで教えたり、背の順で綺麗に並ばせるのではなく、早い者勝ちで並んで、言い合いしながら子ども達が自己主張できるような環境があるのは、素敵なことだし、意味がある。英語やスイミングを教育として売っている事業者ではなく、子どもの生活に根付いた教育がすみれ保育所の魅力であり、こういったことを引継いでいただける事業者を選んでほしい。
- ・子どもや保護者が思いを出せて、それを受け止めて、一緒に考えてくれる保育士が揃う事業者を選んでほしい。
- ・誠実にやっていただきたい。
- ・公立は型にはまっていないところが好き。保育士がいきいきとしている事業者がいい。保育士が園長の顔色を見てびくびくしながら保育している事業者には、来てほしくない。

途中、次の質疑応答があった。

保護者：父母会を残してほしいという要望は事業者に聞いてもらえるのか。

市：応募書類の中に保護者会のことは記載してもらっている。

保護者：父母会を保証してくれる事業者を選んでもらえるのか。

市：事業者から父母会をやめるようにとすることはない。父母会のほうで継続したいということであれば、それは保証する。

保護者：事業者にどういう父母会をやっているのか聞いていただけるのか。

市：書類選考に入っている。

保護者：口頭ではなくて書類だけか。

市：聞きたければ、ヒアリングで再度聞くことは可能。

保護者：聞いていただきたい。

保護者：選考委員の方は現地調査では、どういうところを見てくるのか。

委員：今日聞かせていただいたことを頭に入れながら、また、子どもの顔を見てくる。子どもの目の輝きを見てきたい。

委員：子どもの雰囲気、保育士の接し方を見てきたい。また、施設が雑然としていないか、衛生的か、安全か等も合わせて見て、総合的に判断する。

委員：今日、保護者の思いを教えていただいて、たくさん保護者が言ってくださったことは、必ず見てきたい。また、子どもの姿は注意深く丁寧に見てきたい。他にも、こんなところを見てきてほしいという意見があれば、教えていただきたい。

委員：飾らない姿を見せてくれるかどうか、誠実さを判断したい。子ども達が生き生きしているか、安心して預けられるかを見てきたい。また、保育士が生き生きしているかどうかで組織としての風通しの良さを判断したい。

委員：公立の保育とどこまですり合わせできるかということと、ヒアリングでどういう事を聞くかを考えながら見てきたい。

保護者：調査時間は？

市：午前中を考えている。

保護者：給食の様子も見てきてほしい。

市：了解した。

保護者：保護者アンケート結果の P13～14 を熟読してほしい。すみれの保育士は、親も育ててくれる。親が気付かないような、子どものちょっとした変化に

も気付いて、声かけしてもらえ。また、すみれ保育所は地域にも根付いている。子どもに目が行き届いていない事業者は選んでほしくない。すみれの保育士は保護者の顔を覚えており、何かあったら相談できる雰囲気がある。選考の基準が明らかにされていないので、すごく不安。選考するにあたって重視していることを具体的に示してほしい。工事において、子どもの安全を確保できる事業者かどうか。今まで選んできた事業者が全うだったかどうかを検証していただいて、その基準ですみれを運営する事業者を決めていただきたい。

- ・ 今日集まった保護者の意見だけなら、偏ったものになる。保護者アンケート結果がすみれの保護者の選考基準だと思うので、一緒に持って行き、チェックしてもらえれば、保護者の意見と合致したものになる。
- ・ 雨の日の遊びをどうしているのか。また、ケガをしたとき、ちょっとしたことでも保護者に伝えてもらっているのか聞いてきてほしい。
- ・ 現地調査で、子どもたちとの会話から情報を集めてほしい。
- ・ 0～2歳でトラブルが発生した場合、子どもにどういった語りかけをしているかを見ていただきたい。子どもに言葉を届けながら、トラブルを解決しているか。子どもたちの思いを汲み取ろうとしているか。年少児には大きな声ではなく、語りかける口調で対応しているか。

保護者：今の意見について、委員の意見を聞きたい。

委員：おっしゃったとおりだと思う。私も10年現場にいた。乳児に対しては個別に対応することは当然。

委員：私は専門家ではないので、一般的なお母さん、おばあさんの代表とだけいただければ。おっしゃられた視点は持っている。

委員：おっしゃられたことは、当然のこと。生活を大事にしてほしいという意見とつながると感じた。

委員：保育のプロではないが、おっしゃられたことは当然だと思うし、選考に反映させたい。

最後に、保護者が保育所民営化の経過について、プロジェクターを使って説明された。

市 : まとめていただいた保護者アンケート結果は選考委員に持っていただい
ておく。

保護者 : 保護者アンケート結果を読んだ感想を書いていただきたい。

市 : 委員と相談する。

保護者 : 最後に保護者アンケート結果の表紙を読みあげて、終わらせていただく。